

施策（５）^{ちいき}地域における子どもの^{いばしょ}居場所づくり

子	赤ちゃんでも ^{あそ} 遊べる ^{ばしょ} 場所がほしいです。
市	<p>北九州市は、赤ちゃんでも^{あそ}遊べる^{ばしょ}場所として、^{くやくしょ}区役所などに「^{おやこ}親子ふれあいルーム」というものを作っています。^{へや}部屋の中で、^{あんしん}安心して^{あそ}遊べる^{ばしょ}場所です。</p> <p>この「^{おやこ}親子ふれあいルーム」以外にも、^{こくらえきちか}小倉駅近くの「^{くろさきえき}元気のもり」や^{くろさきえき}黒崎駅近くの「^{ちか}子どもの^{やかた}館」の中に、赤ちゃんが^{あそ}遊べるコーナーを作っています。こちらもお^{へや}部屋の中なので、^{あんしん}安心して^{あそ}遊べます。</p> <p>家の^{ちか}近くにある^{しみん}市民センターでも、「^{あそ}フリースペース」という赤ちゃんの^{あそ}遊び場を作っているところもたくさんあります。</p> <p>これからも赤ちゃんが^{あんしん}安心して^{あそ}遊べる^{ばしょ}場所づくりに^と取り組んでいきます。</p>

子	ゆうえんちがあったらいいな。
市	<p>スペースワールドは、北九州市の^{ゆうえんち}遊園地としてたくさんの人に^{たの}楽しんでもらっていましたが、^{ざんねん}残念なことに^{へいえん}閉園してしまいました。</p> <p>スペースワールドのあった^{ばしょ}場所には、大きな^{あたら}ショッピングモールや^{あたら}新しい^{かがくかん}科学館ができる^{よてい}予定です。</p> <p>北九州市には、^{ゆうえんち}遊園地に代わる^か楽しいものが^{たの}他にもある^{ほか}ので、いろいろ^{さが}探してみてください。</p>

子	<p>いろいろな年れいの子と^{あそ}遊んだり、^{しぜん}自然の中でのびのび^{あそ}遊べるようにするには、ちがう学年とペアになって、^{のぼ}森の中に入り、^{のぼ}木登りやアスレチックなどをつくったりすることがいいと思いました。</p>
市	<p>北九州市では、^{ほうじん}NPO法人と^{きょうりょく}協力して、^{のぼ}森の中で木登りをしたり、^{のぼ}ロープでブランコを^{つく}作ったりする^{そとあそ}外遊びを^{まいつき}毎月決まった^{ようび}曜日などに行っています。</p> <p>これからもいろいろな^{ねんれい}年齢の子どもたちと^{あそ}遊んだり、^{しぜん}自然の中でのびのびと^{あそ}遊んだりすることができるような^{あそ}遊び^ば場づくりを行っていきます。</p>

施策（６）^{きょういく たいけん がくしゅうきかい じゅうじつ} ころの教育、体験・学習機会の充実

子	<p>^{あたら}新しいプラネタリウムをつくってくれることはいいと思います。</p> <p>(理由) ^{りゆう}ぼくも好きだし、みんなも好きと思うからいいと思います。</p>
市	<p>^{あたら}新しいプラネタリウムは、より自然に近い^{しぜん}星空^{ほしぞら}とまるでその場にいるように感じる映像^{かん えいぞう たいけん}を体験できるよう、とても大きなドームを作る^{よてい}予定にしているので、完成^{かんせい}を楽しみにしててください。</p>

施策（７）^{せいしょうねん ひこうぼうし じりつ た なお しえん} 青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援

子	<p>学校^{たの}に楽しいしせつを作ったりすると休み時間^{じかん}が楽しくすごせる。</p> <p>学校に行きたくないと思ったら休んでもよいようにする。</p>
市	<p>学校^{たの}が楽しいと思える環境^{かんきょう}づくりを進めることは大切なことです。これから^{すす}も進めていきます。</p> <p>また、学校に行きたくないと思ったら、すぐにお父さんやお母さん、学校のスクールカウンセラー、電話相談^{でんわそうだん}（24時間子ども相談^{そうだん}ホットライン093-881-4152）など、自分がいちばん相談^{そうだん}しやすい人に相談^{そうだん}してみてください。</p>

施策（９）^{じどうぎゃくたい たいおう ぎゃくたい じょうれい すいしん} 児童虐待への対応（北九州市子どもを虐待から守る条例の推進）

子	<p>私は、^{こま}困っている人がいなくなることが大切だと思ひます。理由^{りゆう}は、今、「ぎゃくたい」でなくなったこどもがいてかわいそうだな^{おも}と思ったからです。だから「ぎゃくたい」などをなくすために、ポスターなどを書き^{さまさま}様々な人にしらせたらいいと思ひます。</p>
市	<p>虐待^{ぎゃくたい}をなくすためには、たくさんの人に虐待^{ぎゃくたい}について知ってもらうことが大切です。</p> <p>北九州市では虐待防止^{ぎゃくたいぼうし}のポスターを市役所^{しやくしょ}や区役所^{くやくしょ}の壁^{かべ}に貼ったり、市民のみなさんに配^{くば}ったりしています。</p> <p>これからも皆さんに色々^{いろいろ}な形^{かたち}でお知らせしていきます。</p>

施策（12）子育てを^{おうえん}応援する^{たいせい}体制づくり

子	子育てのそ ^そ うだ ^だ んコー ^{コー} ナーをつ ^つ く ^く ってあ ^あ げるとよい。
市	<p>子育ての相^{そう}談^{だん}ができる場^ば所^{しょ}としては、「子^こども・家^か庭^{てい}相^{そう}談^{だん}コー^{コー}ナー」がありま</p> <p>す。このコー^{コー}ナーはそれぞ^くれの区^く役^{やく}所^{しょ}の中^{ちゅう}にありま</p> <p>す。子^こどものこと^{こと}や子^こ育ての^{こと}ことなど、ど^どんなこと^{こと}でも相^{そう}談^{だん}に^の乗^のっていま</p> <p>す。何^なか相^{そう}談^{だん}し^{たい}たい^{こと}が^あれば、こ^こに^来て^もら^っていま</p> <p>す。</p> <p>そ^そして、相^{そう}談^{だん}の^{ない}内容^{よう}にあ^あわ^せて、子^こ育てを^して^いる^人た^ちが^{つか}う^{こと}の^でき^る</p> <p>い^ろろ^ろな^しく^みを^しょう^{かい}し^{たり}、ア^アド^バイス^をし^{たり}していま</p> <p>す。</p> <p>こ^これ^から^も、こ^この「子^こども・家^か庭^{てい}相^{そう}談^{だん}コー^{コー}ナー」を^あろ^く知^らせ^ても^らえ^るよ^う、</p> <p>お^お知^らせ^して^いき^ます。</p>

施策（14）子^し育てと^り仕^り事^じとの^む両^り立^りに^む向^かけた^{かん}環^き境^{きやう}づくり

子	<p>気^きにな^った^{こと}は、お^お父^{ちち}さん^{さん}とお^お母^{はは}さん^{さん}とい^いる^じ時^じ間^{かん}を^{どう}増^ふやす^かです。ぼ^ぼくは、</p> <p>お^お父^{ちち}さん^{さん}にな^ったら、休^{やす}みの^日と^かに、子^こどもと^{あそ}遊^{あそ}んだり^したい^{です}。</p>
市	<p>お^お父^{ちち}さん^{さん}お^お母^{はは}さん^{さん}が、お^お家^{いえ}で^みな^なさん^{さん}と^{たの}楽^すしく^{たの}過^すご^すこ^こが^でき^るよ^うに^する</p> <p>た^ため^には、お^お父^{ちち}さん^{さん}お^お母^{はは}さん^{さん}が、仕^し事^じの^じ時^じ間^{かん}と^みな^なさん^{さん}の^じ時^じ間^{かん}の^り両^り方^{ほう}を^{バラ}</p> <p>ン^ンス^スよ^よく^く過^すご^すせ^るよ^うに^する^こと^が必^ひ要^{よう}に^なっ^てき^ます。こ^この^こと^を「ワ^ワー^ク・</p> <p>ラ^ライ^フ・バ^バラ^ンス」と^いい^ます。</p> <p>こ^これ^から^も、お^お父^{ちち}さん^{さん}お^お母^{はは}さん^{さん}た^たち^が、い^いっ^しよ^に働^{はたら}き、子^こ育て^も楽^{たの}しく^で</p> <p>き^るよ^うに^して^いく^ため^のお^お手^て伝^でい^をし^{たり}、い^いろ^ろな^こと^をお^お知^らせ^したり^し</p> <p>て^いき^ます。</p>

施策 (15) 子どもの安全を守る環境整備

子	<p>安全に歩ける道を細い道にも信号をつけたり、自転車が走るところと歩くところを別々にしていったら安全になると思います。</p>
市	<p>「信号をつけること」「自転車が走るところと歩くところを別々にすること」などは、警察がすることなので、市役所で勝手に変えることはできませんが、「通学路安全プログラム」という取り組みを行う中で、危ないところは、警察に伝えて変えてもらっています。</p> <p>これからも、安全な道路になるように取り組んでいきます。</p>

子	<p>災害があったときでも安心してすごせる場所をつくることは、とてもいいことだなあと思いました。</p> <p>(理由) 災害があると、パニックになってしまうからです。</p>
市	<p>北九州市は土砂災害、洪水災害、津波災害などのハザードマップ(災害の種類・場所・危険度などを示した地図)を作っています。</p> <p>自分が住んでいたり、普段行くことの多い地域にどんな危険があるのかを調べることで、災害が迫ったときどこへ行けば安全なのか知ることができます。</p> <p>災害でパニックにならないよう、あらかじめどこへ逃げればいいのか確認しておくことが大切ですので、家族の方と一緒に調べて、確認しておいてください。</p>